

兵庫県サッカー協会フットサル委員会

選手、関係者が安全に活動出来る環境を作る為に、又、全員の生命・健康の安全を最優先とし、

感染拡大のリスクを最小限とする為に下記事項のガイドラインに沿って大会を実施する。

参加する前に

選手、スタッフは、各個人の健康チェックリスト（試合日の2週間前から当日までの検温）を代表者が取り纏めの上、提出する事。（尚、忘れた場合は、試合への参加は認めない）

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。

- 1) 体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常など）
- 2) 新型コロナウイルス感染症要請とされた方との濃厚接触
- 3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

※上記のいずれかに該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

大会当日

- 1 チーム責任者は、当日参加の選手スタッフのチェックリスト提出する事。（別紙）
※提出がない選手は出場できないものとする。又、スタッフも会場には入ることが出来ない。
- 2 マスク等口を覆うものを持参し、選手、役員、関係者は試合時以外は常に着用してください。
- 3 試合前後、並びにお手洗い後のこまめな手洗い、消毒液やアルコールによる手指消毒を行って下さい。
- 4 試合以外では、可能な限り他の選手、関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保してください。
- 5 大きな声で会話をしないようにお願いします。
- 6 試合終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者まで連絡し速やかに濃厚接触者の有無について報告してください。

更衣室の利用（各体育館の指針を参考にする事）

- 1 更衣室、シャワーは利用可能な場合、密を避ける為、一度に多くの人が入る事は厳禁。
利用に際しては、2人～3人とし行為が終われば速やかに退出し交代で利用。
尚、更衣室の中でも出来る限りマスクを着用し会話は慎む。ミーティング、飲食は不可
シャワーの利用も同様に交代で使用し密を避ける。
- 2 更衣室で出たゴミは、各自責任を持って持ち帰る事。

MCM（マッチコーディネーションミーティング）

- 1 密とならない場所で開催（各会場にて案内します）又は、事前にユニフォーム確認を主催者で実施
- 2 必ずマスク着用をして出席する事。
- 3 出席者は極力最小限とし、チーム責任者1名、審判1名、運営1名にて簡潔に行う
- 4 MCM終了後の握手等は禁止
- 5 コイントスはMCM時に実施する。

試合中に関して

- 1 試合前後の相手チーム、審判団への握手は実施しない
- 2 円陣はしない。
- 3 倒れた選手に手を貸さない。(担架を必要とする場合は別)
- 4 得点時やファインプレー時等における、ハイタッチ、抱擁は行わない。
- 5 ピッチ内では咳エチケットを守る。唾を吐かない。
- 6 ビブスは着用するが、交代時のビブス受け渡しはしない
- 7 ベンチでの蜜を避ける為、ベンチは2列にする
(会場によっては出来ない場合もあるが蜜にならないよう努力する)
- 8 飲料水は回し飲みは不可とし、個人専用のものを指標する事。
(ペットボトルの使用は認めるが、ピッチの外での飲水する。又、回し飲みは厳禁)
- 9 ベンチ及びアップ場所ではマスクを着用し、会話は控える(大きな声で激を飛ばさない)
- 10 ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際においてもお互いの距離について配慮する。
- 11 第3・TK、記録スタッフ、ボールパーソンは試合中必ずマスクを着用する。
- 12 タオルは共有せず個人用を準備する
- 13 試合終了後にベンチ他を消毒する。
- 14 BP は試合終了後に必ず手洗い、消毒をする事。

審判員

- 1 マスクを着用し会話を最小限に留める。
- 2 事前打合せや試合後の打合せについては、密集にならないよう一定の距離(2m)を置いて実施する事。
- 3 控室は運営と同部屋になる事も予想されます。会話は控えるように。
- 4 シャワーを利用する場合は、交代で使用し密集を避ける
(状況により緩和される可能性もあるが、利用できない体育館もある。)

ゴミの廃棄について

- 1 チーム又は個人にて必ず回収し持ち帰る事。
- 2 ゴミ袋は各チームにて準備する事。
- 2 ゴミを収集する際は、マスクや手袋を着用の上、密閉して縛り廃棄し、終了後は手洗い、消毒をするように心がける。

喫煙に関して

- 1 喫煙場所が設置されてる会場では、喫煙場所が密になる事から注意する事。
喫煙をする場合は、一定の距離を取り会話は控える事。

その他

- 1 試合会場への交通手段については、乗り合いで来る場合、密にならないようチームで検討して下さい。